

## タイトル：山階小学校の児童が、マレーシア出身者と交流しました！

きょうとまるごとお茶の博覧会実行委員会事務局です。

今回は、令和7年9月22日(月)に、京都市立山階小学校の6年生2クラス、55名の児童と伝統クラブの児童23名が、マレーシア出身者の留学生2名を「おもてなし」した様子をレポートします！

お迎えにあたって最初は6年生の児童と交流です。

2名のマレーシア出身者がそれぞれのクラスに分かれて交流をしました。

まずは留学生の方からマレーシアの紹介がされました。

マレーシアではマレー系、中華系、インド系の3民族等がいることや、マレー語、英語、中国語、タミル語と多くの言語が入り混じっていることが紹介されました。

紹介してくれた方は中華系ですがこれらの言語をすべて話せるほか、日本語も流暢に話されていました。すごいですね！

児童から「日本に来て一番いいな！と思ったことはなに？」と聞かれると、「めんつゆが最高です！これがあれば何でも作れます！」とのこと。児童からは笑い声と共感の声が起こりました(;>O<\*)



次に学校の紹介です。

樹齢150年を超える樹が植わっていることなど、児童から英語で学校の紹介がされました。



その後、児童たちから日本の伝統的な遊びの紹介と体験コーナーが始まりました。

児童たちがお手玉やけん玉で世界一周（小皿→大皿→中皿→けん）を披露すると拍手喝采！！👏

みんなで拍手をした後、今度は留学生の方がけん玉にチャレンジしました。

大皿に乗せるのも難しく、改めて世界一周を決めた児童のすごさが際立ちます。



次は折り紙です。

今度は児童たちが驚かされる番でした。

児童たちが折り紙で鶴の折り方を一度教えると留学生の方はパパッと鶴を折り上げてしまいました！

これには驚きの声と拍手がおこりました👏

ここで6年生たちとはお別れして、放課後のクラブ活動、伝統文化クラブで一緒に茶道体験です。

伝統文化クラブの児童たちがお運びをしたお菓子の説明をしてくれました。

今日のお菓子は季節のお菓子、柿の練り切りです。



お菓子をいただいた後は抹茶を一服🍵  
きれいな抹茶茶碗にも興味津々でした。



児童たちが入れてくれた抹茶を飲んだ後、茶道を習う児童たちと一緒に抹茶を点ててみる体験が始まりました。

二人とも初めての体験でしたがきれいに点てることができました！



山階小学校の「おもてなし」では日本文化をたくさん感じられました！